

## 令和5年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立 千鳥 小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・歌やゲームで単語や表現を楽しみながら覚えている様子が見られる。
- ・リスニング力が定着してきており、詳しい内容は分からなくても、内容を推測しようとしていたり、積極的にALTとコミュニケーションをとろうとしたりする様子が見られた。
- ・ライティングでは、単語を練習したり、自分の好きなものや考えを書き表したりして積極的に書こうという様子が見られた。

#### (2) 課題

- ・新しく覚えた文型や単語を使って英文を書く時間を増やし、書く力の向上を図る。
- ・日本と世界各国の文化を比べるなどの児童の実態に合った必然性のある学習活動を取り入れる。
- ・授業以外にも英語と触れる場を設定して、英語に時間を増やしていく。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

※ ◎…目標値を上回った    ○…目標値と同程度    △…目標値を下回った

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	大田区学習効果測定の教科外のためなし		
第5学年			
第6学年	◎	◎	△

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語や簡単な短文を聞き取る力や、月・曜日・天気を表す単語や挨拶を英語で伝える力は身に付いている。</li> <li>・アルファベットの定着率には個人差がある。大文字と小文字の区別や、表記の仕方が不十分な児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校で行われている行事や、内容を紹介する学習では、習った単語や表現を多く活用して文を作り、グループでプレゼンテーションすることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で話したり書いたりする活動に対して抵抗感をもっている児童もいるが、英単語や英語表現を理解し、積極的に英語を用いようとする様子が見られる。</li> <li>・ALTとのやり取りや、児童同士でのやり取りを楽しんでいる。</li> </ul>

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### （1）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・アルファベットの大文字と小文字の区別が定着していない児童がいるので、繰り返しアルファベットに触れる場を増やす。</li><li>・新しく覚えた文や単語を定着させるために、リーディングの学習だけでなく、ライティングの学習時間を増やし、書く力の向上を図る。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・語順やアクセント、日本と外国の生活習慣や行事など、外国と日本の共通点や違いを知る機会を増やし、言語や文化について体験的に理解を深められるようにする。</li><li>・プレゼンテーションの機会を増やし、習った英単語や表現を使いながらよりよい英文を作れるようにする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・学習した英語表現を使ったALTや友達とのコミュニケーション活動を積み重ねることで、英語で話すことへの抵抗感を減らしていく。</li><li>・英語を用いたゲームを活動に取り入れ、英語と慣れ親しむ時間を増やす。</li></ul>